

# 前期学生大会 積極的参加を!!

# 東京薬科大学新聞

発行所  
東京薬科大学  
新聞会

七月号

## 平成十年度前期 学生大会議題

- 1、所信表明
  - 2、自治委員会
  - 3、新聞会
  - 4、東葉祭運営委員会
  - 5、体育祭実行特別小委員会
  - 6、会議室及び印刷室の  
貸出し時間について
  - 7、選挙法細則の改正について
  - 8、予算委員会（1）
  - 9、予算委員会（2）
  - 10、平成九年度決算報告
  - 11、平成九年度監査報告
  - 12、平成十年度予算案

七月一日（水）の三・四限目に、体育館で平成十年度前期学生大会が行われる。学生大会の講演書の大意は左記の通りである。

一、所信表明

学生の皆さんのが自治活動の中、意見や主張をより述べやすくなるよう最善を尽くしていきたいと考えています。

二、自治委員会

自治委員会では、自治会員である全学生及び各部活の意志が反映されるように活動していくかと思います。

三、新聞会

新聞会では、読者の皆さんの意見を取り入れる為に、学生部前に「御意見箱」を設置しています。是非積極的に利用してください。

四、東葉祭運営委員会

今年度も開催期間を十一日一日（日）～三日（火）の三日間とし、後夜祭・Nステージ他特別企画を予定しています。当委員会は全學生の積極的な参加を望んでいます。

五、体育祭実行特別小委員会

今年は体育祭を十月十四日（水）に開催します。毎年恒例の種目に、新しい種目もせ

二、自治委員会  
　自治委員会では、自治会員である全学生及び各部活動の意見が反映されるように活動していくべきだと思います。

三、新聞会  
　新聞会では、読者の皆さんの意見を取り入れる為に、生部前に「御意見箱」を設置していきます。是非積極的に利用してください。

学生の皆さんが自由で、意見や主張をやっていきたいと考えて

七月一日(水)の三・四限目に、体育館で平成十年度前期学生大会が行われる。大会の議案書の大意は左記の通りである。

東京薬科大学新聞会  
責任者 原 太志

---

七 月 号

近代文学で最も広く読まれている作家と言えば、やはり夏目漱石ではないだらうか。今回紹介する「こころ」は、彼が残した作品の中でも晩年の最高傑作として知られている。

夏目漱石

二二九

# 中医学体験留学

十一、平成九年度決算報告  
十二、平成十年度予算案  
年々、学生大会への関心や出席率の低下が目立ち、委員会の提出のみで済ませてしまふ人も多い。もっと積極的に討をしたいと思います。

近代文学で最も広く読まれている作家と言えば、やはり夏目漱石ではないだろうか。今回紹介する「こゝろ」は、彼が残した作品の中でも晩年の最高傑作として知られている。

この作品は、人間不信やそれによる自殺をテーマとしているため全体的に暗い。しかし若者を中心に読まれており、深い感銘を与えていている。これは一体なぜだろうか。その理由は、緻密に組み立てられたストーリーの中にあると言える。

主人公である「私」は、ひょんなことから知り合った人を「先生」と呼び、親しく付き合うようになる。しかし、先生はあまり他人

と関わろうとはしない。彼の「こゝろ」には、ある暗い過去が、しているのだ。彼は学生としていた一人は、一人は宿していた。「一人は『お嬢さん』に、いわゆる心を抱く。彼はKから

講等である。今回の紹介は、中医学と漢方は、同じく中医の

# 夏目漱石

## こゝろ

い人の奥底  
留学で学  
向じ理論

そなせ  
生時代に  
る家に下  
宿先の  
つしか恋  
ら恋の相

生の学生時代を描いてい  
る。そのため学生時代の今  
読んでみると、彼らの恋の  
悩みや「先生」の罪の意識  
などがよく分かるだろう。  
また、「先生」はKを自殺  
に追い込んだしまった罪悪  
感から逃れられずに、葛藤  
している。その立場  
を自分で置き換えて  
読んでしまう人もい  
るかもしれない。  
もうすぐ長い夏休  
みがやってくる。ど  
んなに忙しい人でも、一冊  
の本を読むくらいの時間は  
作れるだろう。夏目漱石の  
「こゝろ」は、感動を得ら  
れる数多くの作品の中の一  
つである。心に残る一冊を  
見つけるために、まず「こ  
ゝろ」を読んでみてはどう  
だろうか。

クラシック界で世界的に高  
名で、日本を代表する作曲家  
の一人だった武満徹(たけみ  
つとおる)が、一九九六年二  
月に、六十五年の生涯を終え  
た。皆さんは武満徹を知って  
いるだろうか。クラシックに  
興味のない人は、とにかく  
名前すら聞いたこともない人  
物かもしれない。確かに彼は  
小富西哉のよう、絶大な人  
気を誇っていたわけではなか  
った。ニューミュージックが  
広く支持される現在では、彼  
の知名度は低いだろう。ところが實際には、気付かないう  
ちに彼の曲を耳にしているい  
人が多いのだ。▲彼の作品は、  
圧倒的にクラシックが多い。  
しかし彼の凄いところは、ジ  
ャンルにとらわれず幅広く  
活躍をしていたところだ。例  
えば「島へ」という曲はもと  
も合唱のために作曲された

# お詫び

合體在通

2007号の執行委員会役選挙の記事において「やきのクラブ」が「焼物クラブ」となっておりました。また、入部傾向の記事に一部重複ありました。訂正してお詫申し上げます。

藥味

